

## 8. 健幸コミュニティ・ビジネスモデル

“健幸をテーマとした不動産開発”  
&  
“健幸をテーマとしたシステム運営”



住・食・動・医の四つを  
切り口とし、日々の生活  
を支えます

ビジネス モデル 健幸 エレメント	QOL型コミュニティ（次世代型土地活用）	
	健幸不動産開発（ハード）モデル	健幸サービスシステム（ソフト）モデル
住	主に健幸をテーマとした分譲・賃貸マンション 国土交通省の基準（住宅性能評価基準）を上回る健幸に気づかした“健幸設計基準”を設けてマンションの差別化を図ります	分譲・賃貸マンションの健幸管理 化学的因子、生物的因子（カビ、細菌、ウェルス）など各住戸の健幸住宅診断を行います （健幸住宅診断システム、診断機器の開発）
食	主にオーガニックや自然の食材、食事を提供する施設 オーガニックコーナーを設けたスーパーマーケット、オーガニックレストラン、カフェ等のテナント誘致 “有機野菜認定”と食材流通、料理教室なども対象	健幸な食事の摂取と栄養管理の促進 オーガニック講座、調理教室、各種健幸イベント、農家畜産家紹介などと並行し栄養管理を促進します（栄養管理システム、農業6次産業化提携）
動	主に健幸をテーマとした運動とエイジングケアの施設 スポーツクラブ、サーキットトレーニング、エステ店、アンチエイジング、美容院、保育園などテナント誘致。 シェアルームも含まれます	大学が開発した健幸マネジメントシステムを導入し 会員制で健幸運動やエイジングケアの指導管理し、 シェアルームで人々の交流や絆づくりを促進します （e-wellness-management、e-sports-ground）
医	主に健幸を基本とする未病系メディカルモール 未病に積極的なクリニック、調剤薬局、薬局を統合し メディカルモールとします。メディカルテナント誘致。 地域医療、家庭医療の拠点づくり	予防医療、未病医療の提供 病気にならないこと。健康診断、DNA検査、未病 診断及び住、食、動と連携し未病を推進します （未病診断システムの開発、他医療機関との連携）